



北九州高校トピックス

北九州市立大学主催イベント、「未来のモビリティ事業を創造しよう！」で

近未来の乗り物を想像して発表してきました。

9月から12月までの月に1回ペースで実施されたイベントは、12月9日土曜日14:00からセントシティ7階“ATOMica”で開催され、小倉高校、若松高校、明治学園高校、敬愛高校、北九州高専の生徒が参加しました。

それぞれの講義では、まず起業家や企業担当者による講演を聞いて知識の習得を目指し、そのあとに課される課題への取組によって振り返りを行い、各校で検討した内容を次の講義で発表する形式になっていました。そして、最終日には自分たちのアイデアを全体で発表して評価してもらう経験をしました。

全体の発表テーマは「近未来の交通手段を若者目線で考えよう」というコンセプトになっており、各校の生徒5〜7名で構成されたチームでテーマについて考えて発表に取り組みました。

最初は北九州高専チームの発表で、自転車に乗りながら止まっているときにはハンドルに設置されたディスプレイから教科の問題や社会での出来事が学べるという「時間節約と効率化」に関する発表でした。

次は北九州高校と敬愛高校の合同チームで、自動運転と地図アプリ、エンターテインメントを融合して運転を楽しむものに変えるという「アミューズメント思考」に基づいた発表でした。

続いて若松高校チームが発表して、電車の改札に顔認証システムを応用して混雑を回避する内容になっており、事前に設定したアプリの個人情報と紐づけて既存の乗り物の課題を改善する内容の発表になりました。

最後は明治学園・小倉高校・自由が丘高校の合同チームの発表で、移動手段に革命を起こすことを目的として、2輪車や4輪車ではなく、1輪車をベースにした交通手段の提案でした。現存する類似した乗り物を提案することで1輪車での応用と開発が可能になることを説明した発表でした。この発表には審査員だけでなく高校生からも多くの質問が出されて、白熱した時間になりました。

審査員は北九州市役所都市整備交通局の方と北九州市立大学副学長が務めてくださり、最優秀賞は明治学園・小倉高校・自由が丘高校の合同チームが選ばれました。本校チームは1番にはなれませんでした。合同チームだからこそ取り組むことができたオンライン会議や役割分担の提示と交渉など、校外活動ならではの活動を体験することができました。参加した生徒はそれぞれに達成感を得たようでした。また、今後このようなイベントがあれば参加してみたいという声も上がり、それぞれに有意義な時間を過ごすことができただけでなく、次回に向けた課題も多く見つかったようでした。北九州高校は今後も、このように探究活動を積極的に推進していく予定です。



(↑発表開始時の1コマ)



(↑発表前の1コマ)

「発表に使用したスライドの一部抜粋（画像生成 AI を初めて利用しました。）」

実現したい未来



- ✓ 運転中の不安を解消
(事故、睡魔、注意力が落ちる)
- ✓ リラックスと運転を両方実現する
(運転は苦痛ではなく、楽しいもの！)

「若者が運転で不安を感じることを話し合ってみました」

革新性と独自性



- ✓ I'm happy. → ボタン1回押すだけ
- ✓ 自分で運転不要
- ✓ 移動時間 = 楽しいことをする時間
- ✓ 若者が楽しめるイベントの提供
- ✓ リラックスできる空間 = 癒しの時間
- ✓ 最新の情報が体験できる乗り物
- ✓ 映えるスポットとしての乗り物

「乗り物」がこんな風になったらもっと→若者が乗りたくなるかなと考えてみました

「乗り物」の概念を反転



- ✓ 乗り物であり、体験の場でもある
- ✓ 移動しながら、○○できる楽しみ
- ✓ 乗れば乗るほど元気になる仕組み

「若者が考える移動手段以外の乗り物の未来のカタチを考えてみました」

未来への計画と投資



- ✓ 自動運転を他の移動手段に応用
(船、飛行機、ヘリコプター)
- ✓ 健康増進事業へ伸長
(楽しみながら健康になる)
- ✓ 若者の移動手段に革命を
(移動して、ふるさと以外を満喫)

新しい「乗り物」のコンセプトは車以外→にも応用できないかなと考えてみました